

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KTC放課後等デイサービス はぐぼん きふね町				公表日	2025年 3月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		広い場所を安全に活用し支援するために、遮蔽物の無い配置でものを配置し死角を無くすようにしている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	基準上十分な配置にはなっているが、より効率的支援を行うため、担当を決めてそれぞれの能力を発揮できるよう配置している	求人面には力を入れているが中々新たな求人が来ないので、事業所の魅力を今以上に発信できるようにしていく予定	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		朝夕の清掃の他に、活動時間中に子ども達と一緒に清掃を行う事により、子ども達自身にも綺麗に使う意識を高め清潔衛生を常に保てるようにしている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		十分なスペースを確保いつでも使えるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		今後実施内容の周知などを実施していく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		法令で定める研修の他に、災害時のご利用者様の安全を高めるための防災訓練やアレルギーに対する研修及びエビペンの使用訓練などを実施している	防災訓練は子ども達も一緒に実施しているが、その内容の周知に少し課題があるのでその点を踏まえ改善し続けている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	送迎時間や保護者との話が長くなるなど状況によってその日のうちに共有できない場合には、次の日に共有を行う又は共有ラインにて報告相談を実施している。	その日得た情報をその日のうちに共有できない場合には必ず共有ラインにて共有を行うようにしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		職員全員がいつでも相談を受けその内容を共有できる体制を取っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	可能な限り全員で参加するように心がけている	研修及び交流会の開催時間（午後は難しい）によっては参加できないことが多いので、人員体制の充実を図りスタッフが参加しやすい体制を作れるようにしていきたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		朝夕の申し送りの他に、午後からくするスタッフとも適宜情報交換ができるよう時間を設けている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	家族参加型の交流会を年2回以上開催している。	開催日を長期休み中の平日や祝日を当て実施しているが、参加率が上がらないこともあるため参加しやすい日を抜粋したり、2か月以上前から案内するなどの対策を講じている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		変更点があった時や質問があったときにどの職員に聴いても対応できる体制を取っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		帰りの送迎車の中で子ども達から世間話をしつつ情報を聞き取るようにしている。そこで得た情報は必要に応じて保護者とも共有している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4		家族参加型の交流会を年2回以上開催し、その中で同じような悩みを持つ保護者同士で交流できる場を設けている。	参加率を上げるために様々な策を策定中
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		2か月おきに事業所の活動報告紙である「はぐぼん通信」を配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	消防法令上の消防訓練を大家さんやビルの他のテナントの方と一緒に実施し、緊急時の時などの時にも連携が取れるよう交流している	地域交流の一環として近隣のコンビニに買い物に行くが、その際にレジで時間がかかる時があるので、日々のお金に関する部分をより強化する必要がある
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		定期的な見直しを行うとともに適切な研修も同時に行い職員に周知徹底できる体制を取っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		定期的な見直しを行うとともに適切な研修も同時に行い職員に周知徹底できる体制を取っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		年度初めにアレルギー調査とともに実施している。また、診断があった場合にはすぐに情報共有をするように心がけている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		年度初めにアレルギー調査を実施している。また、診断があった場合にはすぐに情報共有をするように心がけている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		定期的実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		年に2回の防災訓練の時と9月の防災の日で緊急連絡などの訓練を実施している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		定期的研修を行い職員全体が最新の知識を知れるよう実施している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				